

- ◆企画名 KU コアラと行く梅田の書店巡り
日程 2025年7月6日(日) 10:00~12:15
場所 紀伊国屋書店 梅田本店、TSUTAYA BOOKSTORE 梅田 MeRISE、MARUZEN&ジュンク堂 梅田店、梅田 蔦屋書店
参加者数 6名(ピア・サポータ2名、研修生1名、一般学生3名)

目的

- それぞれ特徴の異なる書店を巡り、さまざまに提供される読書体験に触れる。
- 読書活動の促進、読書意欲の活性化を図る。

内容

<企画の流れ>

- 午前10時に紀伊国屋書店梅田本店前に集合し、書店を見学する(15分程度)。
- TSUTAYA BOOKSTORE 梅田 MeRISE に移動し、関西大学が運営するスタートアップカフェ大阪で2024年から取り組んでいるプロジェクト「書店ゲーム」について書店員の方からの説明も含めて30分間の見学をする(30分程度)。
- MARUZEN&ジュンク堂に移動し、書店を見学する(30分程度)。
- 梅田蔦屋書店に移動し、書店の特徴を説明した後に、先に終了挨拶をする。現地解散した後に自由行動。
- 終了挨拶(アンケート入力依頼)

<企画の工夫>

- 当日の遅刻・欠席連絡や見学時にバラバラになってしまったときの連絡手段を確保するために、LINEのオープンチャットを活用した。
- 短時間の見学であっても各書店の違いや楽しみ方をより感じてもらえることを目的として、参加者にはそれぞれの書店の特徴や参加者が各書店を見学しながら感じたことや読んでみたいと思った本の書誌情報を自由に書き込めるメモ欄を設けたA5サイズのしおりを配布した。
- 初めの説明と解散時に、関西大学図書館で本のリクエストを実施していること、本企画に限りリクエストした本が入荷されたかを、後日KU コアラから通知することを伝えておいた。



効果

- 本企画を行うことで、参加者が読みたい本に出合えたり、お気に入りの書店を見つけられたりと、関大生の読書活動の促進に繋げることができた。
- 複数の書店をめぐることで、それぞれの特徴や違いを知り、新たな書店の楽しみ方を提供できた。
- 移動中に参加者同士での積極的な会話があり、関大生同士の交流が生まれた。
- 参加者アンケートにおいて、備付希望図書の新規リクエストは確認できなかったが、当日配布したしおりの総合図書館の機能を紹介したページに目を通してもらっているので、リクエスト機能の周知にはつなげることができたと考える。

改善点

- 事前資料の提出が遅れるため、下見の日程はなるべく早く設定する。
- MARUZEN&ジュンク堂などフロアが多い書店は、各フロアをゆっくり見て回れるようにもう少し時間を多めにとるべきだった。
- 途中離脱など、体調不良者をどうするか。
→なるべく日陰の移動ルートを設定し、定期的に水分補給をする時間を設けていたが、暑さだけは仕方ないのではないか。開催時期を見直すべきか検討する。
- 写真をどう撮るかや移動中のポジションは事前に話しておくべきだった。先頭は基本後ろを向いてしゃべれないので、最後尾のメンバーが会話を促進するのが大切。

感想

- 概ね下見通りのペースで移動できた。今後も学外で行う企画の下見は、移動ルートの環境や移動時間をしっかりと確認し、丁寧に計画したい。
- オープンチャットで企画当日より前から参加者に連絡を行えたことがスムーズな集合に役に立った。また、当日も再集合の場所と時間をオープンチャットで都度共有できたことが時間通りの進行に繋がった。
- 気になった本を手にとって読んでみたり、フロアを自由に散策したり、各自で楽しみながら巡れたように思う。